

<b>〔科目名〕</b> 経済演習Ⅱ	<b>〔単位数〕</b> 4単位	<b>〔科目区分〕</b> 演習				
<b>〔担当者〕</b> 大矢 奈美		<b>〔授業の方法〕</b> 演習				
<b>〔演習テーマ〕</b> 社会保障制度を考える <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の現行社会保障制度を知る</li> <li>・労働市場の変容が社会保障制度に何をもたらしたのか検討する</li> </ul>						
<b>〔演習内容〕</b> 2年次の経済演習Ⅰでは、香取照幸(2022)『社会保障論Ⅰ』の前半をテキストとして、経済学および経済発展の過程で、社会保障がどう語られてきたのかを学び、日本の現行の社会保障制度の特徴をみた。また、それを通じて、報告資料作成、プレゼンテーションやディスカッションの方法を身につけてきた。 3年次ではこれらを踏まえた上で、現行制度の問題点を考えるとともに、日本社会や経済の維持・発展のために制度はどうあるべきかという改革の方向性を議論する。たとえば、財源確保の問題、前提となっていた社会システムの変容などの影響、それを受けた制度改革の必要性などである。社会保障制度は、労働政策をはじめとした様々な政策との兼ね合いを考えながら設計されなければならない、関連する分野は広い。したがって社会保障制度を単体でとらえることは意味がない一方で、現行制度の基本的な枠組みを知らずに改革の方向を探ることは不可能である。よって、ゼミ生には、3年次春学期の「社会保障論」の受講を推奨する。						
<b>〔科目の到達目標〕</b> 日本の社会保障制度について、その概要を理解し、課題を見つけ出すことができるようになる 課題に対して、自分なりの対応策を検討できるようになる						
<b>〔ディプロマ・ポリシー (DP) との関係〕</b>						
学部				学科		
DP1 ○	DP2 ○	DP3 ○	DP4 ○	DP1 ○	DP2 ○	DP3 ○
<b>〔前提条件〕</b> 労働経済学、社会保障論を履修していること、あるいは履修すること。この問題について関心があること。						
<b>〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等)</b> 担当部分の報告の完成度、ディスカッションに向けた準備の程度、その内容によって評価する。						
<b>〔教科書等〕</b> 香取照幸(2022)『社会保障論Ⅰ』東洋経済新報社(経済演習Ⅰの続き)。 香取照幸(2021)『民主主義のための社会保障』東洋経済新報社。  参考書: 椋野・田中(2025)『はじめての社会保障(第22版)』有斐閣(出版の見込み)。						
<b>〔実務経歴〕</b> なし						
<b>授業スケジュール</b>						
時期	テーマと内容					
4月～6月	2年次に使用したテキストの後半を輪読する					

7月～11月	香取(2021)を輪読し、日本の経済全体の枠組みの中で社会保障制度のあり方を考える
12月以降	各自の問題意識に従って、文献を読み、報告する